大館市政だより
第五十四号（毎月一回発行）
発行所 秋田県大館市 大館市役所
編集兼発行人 田村正六

国立技術養成機関の誘致

全市をあげて実現に努めよう

国立秋田県総合職業補導所を大館に誘致しようという運動が強力にすすめられています。

そして、これが誘致は、県北の中心都市としての大館にきまる公算が非常に大きいので、市では関係方面との緊密な連携を図り、全市あげてこれが実現に努力しています。

この国立補導所は、木工、ブロツク建築、機械、鋳造、板金熔接、内燃機修理、自動車整備、電気機具修理、塗装洋服の十科目をもち、補導生三〇〇名で県下一円を対象とするものであるため、寄宿舎収容一五〇名を見込んでいます。職員は四二名、補導期間は一年（将来二―三年制を予定）というもので、敷地五千坪、建物一八七〇坪（本館、実習場、附属建物）で、工費一億二千四百五十八万円、機械器具一式七千六百三十九万五千円、総額二億九十七万五千円という大規模なものであり、寄宿舎は地元寄附の形になるものとみられています。

大館市における中学校卒業者は毎年一二〇〇人ほどありますが、このうち上級学校進学者は約半数の六〇〇人、他はそれぞれ職場を求めて社会に出られる人達であります。

ここで考えられることは、上級学校、即ち高等学校への進学者についても、市内には鳳鳴、桂の二校よりなく、しかも、その教科は普通科が中校をなしているもので鳳鳴に商科、桂に家庭科をもつに過ぎない、従つて中学卒業者がなにかしら専門技術を修得したいと志望しても近くに花岡工業、鷹巣農林があるのみで教科も充分とはいえず、さらには入学にも少なからぬ制約を受けるのが実状であります。

市外に志望校をもつことは保護者の経済的負担が大きくために、生来の志望を満されないまゝに、止むなく市内にとどまる者も決して少ないものではないようです。

一面、社会へ進出された卒業者について考えてみても、市内での就職は実質的に過剰であることから、労働条件等ではかなりの冷遇にも耐えねばならず、さらには、県外へ進出するにしても、技術の修得をもたない卒業者にしては概して単純労務の域を脱しない者の多いことが容易に推察できるのであります。

こうしたことがらを考えてみても、技術修得の教育機関が如何に必要なことであるか身にしみて感ぜられるのであります。

殊に大館市が、将来豊饒な資源を開発して、農業とともに工業都市として発展しようとするとき、いな、それ以外に発展を期待し得ない実情であるとき、そのもつ役割は、さらに大きなものといわざるを得ません。

第二次産業の発展が、自然第一、三次産業の発展をもたらすものであるとき、これが誘致には市民の皆様とともに真剣にとつくみ、あわせて大館市の中心性を、より高いものに築き上げて行かねばならぬと痛感するものであります。

市民の皆様、あげて、これが実現に御協力下さい。

臨時市議会

付議事件のあらまし

市議会臨時会は一月二十九日市議会議事堂で開かれました付議事件次の通りで、原案通り可決されました。

1、監査委員の選任（前委員佐々木小太郎氏の任期満了による後任者選任のこと、同氏の再選となる）

2、不動産売買並びに抵当権設定契約締結に基く債務保証（住宅金融公庫所有の共同住宅及び土地を公立大館病院が病院施設として買受けるため、同公庫と締結した契約についての債務保証を組合市町村が行おうとするもの）

3、契約の方法について同意を求めること（①市消防、第四分団車庫新築工事の請負契約を指名競争入札で行うことの同意②二井田大橋架設工事用のPSコンクリート桁の購入を随意契約の方法で行うことに同意を求めること）

4、請負契約締結（①第一中学校々舎増築工事（木造二階建一二七、五坪）を株式会社伊藤組②釈迦内小学校改築（木造二階建一棟一二三坪）を三浦建設にそれぞれ指名競争入札の結果により契約を締結すること③二井田大橋コンクリート杭打工事（延長三百米、幅員四、五米）を大同コンクリート工業株式会社と随意契約を行うことについて同意を求めること）

5、売買契約の締結（①長木公民館茂内屋敷分館建物を六十六万九千四百四十円で協和土建へ②釈迦内小学校建物の一部を六十万九千七百二十五円で三浦建設へ、落札による売買契約の締結について同意を求めること）

"防火帯"建築は復興祭等を目標に

市建設課では、昭和三十三年度防火帯建築予定者九十六名について建築についての状況調査を行つていましたが、調査書がこの程まとまりましたので、目下鋭意検討中であります。市ではこの調査に基づいて建築主及び関係方面との間に立つて調整や、指導、援助に本腰をいれ、遅くも三月中には設計の完了を図るべく努力しています。

本年八月には復興祭等（仮称、火災復興祭、産業祭、市制施行七周年記念祭等併せ行う）も盛大に行われる予定でもありまた設計の遅延で秋期冬期になるに及んでは工事の進捗が著しく阻害されることにもなりますので、建築主の積極的な理解と協力方をのぞんでいます。

"晴れて成人に"

一月十五日は成人の日、市内では一一七〇名の若人たちが晴れて大人への仲間入りをしました。

式場となつた鳳鳴高校講堂には、希望に満ち満ちた若人たちが、早くからおしかけ、定刻の午後一時には講堂を一スイの余地なく埋め尽した盛況ぶり

新しい大人への仲間入りとあつてか、この若人たちには「大館時間」はおよそ縁切り、すこしく硬張した表情の中にもその喜びは、かくしきれない。各界多数の祝福をうけた若人の誓いも凝渕としてミサイル時代の、そして未来への大いなる決意のほどがうかえた。

"国鉄バス誘致"

秋北バス乗入を容認

国鉄バス大館―毛馬内間乗入は、同バス誘致促進特別委員会の地元秋北バス株式会社との再三に亘る交渉の結果、秋北バス側が乗入を承認、来る三日国鉄当局との交渉の運びとなりました。これにより舞台は国鉄側に移されたわけで、今後、同委員会は秋北バスと協力して一層の力を尽すことになり、実現の見通しは愈々明くなつています。

有権者 三萬一千六百

基本選挙人名簿は昭和三十二年十二月二十日を以て確定されました。これによると地区別の有権者は次表のとおりであります。

選挙区＼区分	男 人員	男 前年増	女 人員	女 前年増	計 人員	計 前年増
大館	8,785	334	9,898	381	18,683	715
長木	1,187	60	1,175	55	2,362	115
上川沿	816	17	844	34	1,660	51
下川沿	948	48	1,005	21	1,953	69
二井田	964	21	1,009	18	1,973	39
真中	718	18	748	14	1,466	32
十二所	1,617	39	1,955	38	3,572	77
計	15,035	537	16,634	561	31,669	1,098

検察審査員候補者となられた方々のために

当市から選定された本年度における検察審査員候補者は八十七名で、十三日告示し、直ちに本人に通知しましたが検察審査法のあらましについて申述べて見たいと思います。

○何をするところか

検察官は犯罪があると思うときは証拠を集め犯人を検挙しますが、刑を科する必要がないと思うときや、捜査しても被疑者の検挙ができなかつたり、又は証拠を集めることができないときは不起訴処分にします。

検察審査会は不起訴処分にふされた場合

一、被疑者の行為が犯罪を構成するかどうか

二、犯罪を構成するとしてもこれを証明する証拠があるかどうか

三、証拠がある場合、果して刑を科すべきかどうかを審査して不起訴処分の当否を判断決定する外

四、検察事務の改善に関して建議し、勧告等の意志を決定するところです。

○検察審査会制度の採用

裁判所に対して犯人の処罰を求める手続きは、検察官にのみ起訴、不起訴の権限が認められていることは周知のとおりです。

しかし検察官に起訴、不起訴処分を、若しほしいまゝにされては大変なことですからこの短所が矯正されなければなりません。そこで検察審査会は検察の面に民意を反映させて矯正させようとする重大な使命をもつて、昭和二十三年七月採用された制度です。

○審査員及び補充員

検察審査会事務局長は、一月十五日までに各市町村から送付を受けた候補者名簿の中から、審査員及び補充員をくじで選定して会議を開くために招集状を発することになりますが、招集を受けた場合は出頭の義務があります。

くわしいことは市選管にお問いあわせ下さい。

人権擁護委員決る

人権擁護委員は日本国憲法に保障されている国民の基本的人権が侵犯されることのないように、これを監視し、若し侵犯されるようなことがあれば、それを救済するための必要な措置をとるとともに、常に自由人権思想の普及高揚に努めているもので、その委嘱は法務大臣が行います。

全国では二万人近い人権擁護委員がおり、国民の人権を守つているわけですが、当市では、鴬谷武三郎氏（赤館）のほか、昨年十二月一日附で次の二氏が委嘱されました。

○高村禅雄（桂高校[illegible]東台一八二）

○伊多波毅（十二所字中町一〇〇の二）

「市勢」欄は、大館市の姿を数字で見て頂くことによつて、お子さん方の学習の参考に或は地域社会大館の考察の資に供して貰おうとして始めたもので、既に8頁となりました。これは、凡そ60～80頁の市の統計書として完成し、その後は逐次資料の更新（加除）を行つてゆくものでありますから、大切に編綴しおき下され、初期の目的が有意義に達せられるよう希望して止みません。

市勢

就業状態別人口（満14才以上）昭和31年国勢調査

区分	就業状態 総数	就	家	学	他	家・学・他の者の再掲 総数	仕	休	探	非
総数	37.678	21.737	8.605	4.258	3.078	15.941	5.093	486	447	9.915
男	18.022	13.869	390	2.145	1.618	4.153	623	343	315	2.872
女	19.656	7.868	8.215	2.113	1.460	11.788	4.470	143	132	7.043

註　就業状態における「就」とは調査期間中主として収入のある仕事に従事した者「家」とは家事（炊事・育児・その他収入のない生活向きの仕事）に従事した者「学」とは学生・生徒「他」とは調査期間中なにもしなかつた者をいいます。上記表の右側「家・学・他の再掲」は・それらの者をさらに細分したものであり「仕」とは調査期間中少しは収入のある仕事に従事した者（⑧頁へ続く）

毎月の統計

世帯と人口（住民登録1月1日現在）世帯数10.517
人口59.066
男29.242　女29.824

12月の人口動態と戸籍統計
出生96　死亡51　転入141
転出152　婚姻112　離婚9
養子縁組6　同離縁3

産業別従業上の地位別就業者数

産業大分類別	総数 男	総数 女	業主 男	業主 女	単独の業主 男	単独の業主 女	家族従業者 男	家族従業者 女	民間の雇用者 男	民間の雇用者 女	官公の雇用者 男	官公の雇用者 女
総数	13.869	7.868	655	131	3.890	782	2.280	4.090	5.286	2.068	1.758	797
農業	4.859	4.405	135	20	2.584	411	1.887	3.727	253	247	—	—
林業及び狩猟業	500	80	1	—	12	2	9	1	10	6	468	71
鉱業	391	15	1	—	7	—	2	2	381	13	—	—
建設業	1.031	126	58	—	205	—	55	3	633	75	80	48
製造業	1.781	411	130	9	118	11	84	38	1.433	351	16	2
卸売及び小売業	1.786	1.031	202	59	724	240	180	229	680	503	—	—
金融及び保険業	135	39	2	—	5	4	1	—	126	34	1	1
運輸通信その他の公益事業	1.474	205	5	1	13	—	7	—	1.340	170	109	34
サービス業	1.382	1.476	121	42	222	114	55	90	430	669	554	561
公務	530	80	—	—	—	—	—	—	—	—	530	80

保育園の入園申込みについてお知らせ

大館市立保育園入園申込みを次により受付ます。

▼入園申込期間　二月十日から二月二十八日まで

▼入園の申込先　各地区の民生委員へ

▼入園対象児童　有職者、無職者、有識者、無学者を問わず、保護者が労働又は病気等のため保育に欠ける満三才から五才までの幼児（乳児は有浦保育園のみ）

▼施設別定員
有浦保育園＝八〇名（内乳児一〇名）
寺町保育園＝五三名
母子寮附属保育園＝三八名
釈迦内保育園＝六〇名

註　定員を越える場合は入園順位の決定による、なお詳しくは市福祉事務所又は地区民生委員にお問合せ下さい。